

令和6年度 文化スポーツ部組織目標

組織名	文化スポーツ部	部長	高田 章子
組織の目的・方向性	<p>市民一人ひとりが心身ともに充実した生活を送ることができるよう、文化芸術・スポーツの振興を図るとともに、次代を担う子どもたちの豊かな感性や創造力の育成に取り組みます。</p> <p>また、文化芸術・スポーツの持つ多様な価値を、観光や産業、まちづくり、国際交流、福祉、教育などの分野に幅広く活用し、まちの活性化を目指していきます。</p>		
(参考) 関連する総合計画における政策指標*	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術活動（鑑賞を含む）を行う市民の割合 ・文化的な環境への満足度 ・週1日以上スポーツをする市民の割合 ・スポーツ環境への満足度 		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

文化スポーツ部組織目標

コロナ禍を経て、文化芸術・スポーツ活動の重要性が再認識され、コロナの5類移行に伴い、社会・経済活動が回復してきた現在において、以前にもまして文化芸術・スポーツ活動に親しみ、健康で心豊かに暮らせることが大切です。

文化芸術活動・スポーツ活動が再び後退・停滞することのないよう、令和6年能登半島地震で被害を受けた文化芸術・スポーツ施設の早期復旧に取り組むほか、多くの市民が文化芸術活動や、スポーツ活動に親しむ機会の充実を実感できるよう、文化芸術・スポーツ活動を振興していきます。

また、次代を担う子どもたちの豊かな感性や創造力の育成とともに、スポーツを通じて楽しさや喜びを得る機会を提供するための指導者の育成、アスリートの育成・強化に引き続き取り組むほか、市民の地域への誇りや愛着の醸成を図るため、地域に根ざした文化を適切に保存・継承していきます。

そして、文化芸術・スポーツの持つ多様な価値を他分野に幅広く活用し、まちの活性化に役立てていきます。

この方針のもと、今年度は、次の5つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 市民が文化芸術を気軽に鑑賞・体験・創作・発表できる機会を提供するとともに、文化施設における様々な公演、展示等を通じて、市民の文化芸術活動を振興します。
- 2 スポーツを取り巻く様々な環境の変化に対応しながら、スポーツ環境の充実や指導者の育成など、ハード・ソフト両面から市民スポーツ活動を支えます。
- 3 子どもたちの豊かな感性や創造力を育むため、文化芸術を鑑賞・体験する機会の更なる充実を図ります。
- 4 能登半島地震で被災した歴史的建造物の復旧に向け各種支援を行うとともに、文化財等を着実に次代へ継承できるよう保存に向けた整備や調査を計画的に行います。
- 5 本市の特色あるみなとまち文化や踊り文化、鉄道文化などを磨き上げるとともに、国際・全国大会や合宿の誘致、イベント等の開催などにより、文化・スポーツを通じた交流人口の拡大や共生社会の実現を目指します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

取組結果	重点目標の達成状況	目標数		達成数	
今後の方向性					